

[通常機体] ケ Q 「EVOLVE」

ゲミヌス

機体名	ゲミヌス	画像
型式番号	QRX-006	
英語名		
所属	ティターンズ	
パイロット	ニュータイプパイロット多数名	
装甲材質		
装備		
作品名	GUNDAM EVOLVE../9	
参考書籍	GUNDAM EVOLVE../ Ωガンダムファクトファイル 117 ガンダムファクトファイル 133	

内容

■ Ω ライナーノーツ

通称：サイコシップ

ティターンズの試作巨大可変モビルアーマーで、作中では「サイコシップ」と呼ばれている。ピラミッドを組み合わせたようなモビルアーマー形態から、モビルスーツ形態へ変形することが可能。

サイコミュを搭載したニュータイプ専用機であり、多数のニュータイプパイロットが搭乗。ビットを思わせるサイコミュモビルスーツと両腕を射出してのオールレンジ攻撃が可能となっている。

ファクトファイル

ティターンズが開発した試作可変 MA (TMA) で、サイコシップと呼ばれた。

正八面体の MA 形態から巨大な MS 形態（ただし明確な脚部はなく、着陸時に機体を固定するランディング・ギアがあるのみ）に変形する。

この外観だけでも十分に特徴的なのだが、ゲミヌス最大の特徴は複数のニュータイプ（もしくは強化人間）によってコントロールされることである。

機体内には簡易司令部を思わせるコクピットが設けられ、サイコミュ・システムを介して操縦する。

ただし物理的な操縦システムは用意されておらず、操縦系は完全にサイコミュ・システムに依存しているようである。

攻撃面にもサイコミュ・システムは活用されており、主兵装はビットを思わせるサイコミュモビルスーツ「バスター」と遠隔操作可能な分離式両腕。

これに機体各部に設置されたメガ粒子砲を加えることで密度の高いオールレンジ攻撃を可能にしている。

さらに機体底部には高出力メガ粒子砲が搭載され、これは軌道上から地上の任意の地点を狙撃できるほどの射程を誇るものである（ゲミヌスが開発された U.C.0087 において、これほどの射程を誇る MS/MA は皆無である）。

この長距離ビーム砲を用いてカラバのチャクラ研究所攻撃に投入されたゲミヌスは、軌道上に展開するエウーゴ艦隊を瞬時に撃沈。

迎撃に向かったホワイト・ユニコーンとグレイ・ウルフの Z ガンダムを寄せ付けられないほどの戦闘能力を示した。

だが遅れて参戦したユウリ・アジッサ（レッド・スネーク）が駆る Z ガンダムに搭載されたサイコ・ニュートライザーにサイコミュ・システムを乗っ取られ、分離した右腕の直撃を頭部に受けて撃破されている。

上が MA 形態、下が MS 形態のゲミヌス。

どちらの形態も既存機とは全く異なるフォルムをしており、開発経緯や機体の系列など不明である。

一部にはサイコ・ガンダムの流れを汲む機体だとする者もいるが、それが正しいかどうか不明確ではない。

備考

スペック

項目	内容
全高	
頭頂高	
全長	
本体重量	
全備重量	
ジェネレーター出力	
スラスター推力	
センサ有効半径	